

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2021年（令和3年）4月14日

今年は例年より桜が10日ほど早く咲き、4月初めには桜とみづばつつじと花桃と水仙が同時に咲き誇る珍しい現象となりました。三区の長谷部和宣さんのお宅の土手の桜は見事です。花桃も咲き見事な美しさでした。お母様がコツコツと植えられた桜だそうです。しかし川路の花が散るのも早く、春が駆け足で通り過ぎてしまった様な淋しさも感じます。とはいえ、今は天龍峡一帯でチューリップとパンジーが綺麗に咲いており、幾島館跡の菜の花も満開になり、まだまだ春爛漫と言ったところです。

川路まちづくり委員会も役員改選の年になり、「川路まちづくり役員会便り」も新副会長が引き継ぐことになりました。その矢先、3月末に右の様なお便りを川路在住の方から頂きました。

「役員会便りは、優しい語り口で、ひとり、ひとりに話しかけるように活動のようす、その時感じたことなどを伝えて下さり何時も隅から隅まで読ませて頂いております。」今までの役員会便りの執筆者は、某名アナウンサーとしてファンが多かった方ですので、優しい語り口を楽しみにされている方がおられるというもうなづけます。ところが新副会長は技術者上がりの生真面目な男ですので、固い、面白くないお便りになりそうで、不安でいっぱい。お便りにもありました様に、せめて紙面をカラーにして写真を多く取り込み、要望が多かった文字サイズを少し大きくして読み易くしたいと思います。まちづくりの活動を出来る限り判り易くお伝えして参りたいと思っておりますので、2年間お付き合いの程宜しくお願い致します。



三区長谷部さん宅裏の見事な桜と花桃

川路まちづくりのみなさま

日頃は住みやすい地域づくりのためにお骨折りが大変ありがとうございます。

また定期的に発行して下さる「役員会だより」毎回とっても楽しみに読ませて頂いております。

優しい語り口で、ひとり、ひとりに話しかけるように活動のようす、その時感じたことなど伝えて下さり何時も隅から隅まで読ませて頂いております。ただでさえ、いろいろのお仕事で忙しいなか本当に有り難いことと感謝しております。

役員の方々には常に美しいメロディーを届けて下さっております。私は高齢でその曲を奏でることはできません。でもせめて感謝の気持ちを伝え、応援団で居ようかと勇気を出して一筆したためさせて頂きました。

年度が代わりましてもこのお知らせ、続けて頂けたら本当に嬉しいです。

(写真をカラーにして頂けたらお嬉しいですよ)

どうぞみなさまお体に気を付けてられ、これからも地域のためにご活躍下さいませようお願いいたします。

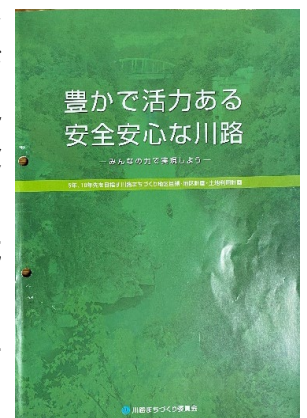
令和3年3月22日

川路地区一住民

川路地区住民の方からのお便り

改定版川路基本計画 みどり本改定

皆さんは「みどり本」をご存じでしょうか？ 今から10年前の3月に制定されました川路の基本計画です。5年、10年先の川路を見据え、「豊かで活力ある、安全安心な川路」をつくる為の基本計画です。早いものでもう10年が過ぎ、次の10年に向けた基本計画を策定する時期が来てしまいました。この10年で川路は大きく発展することが出来ました。天龍峡エコバレー（かさ上げされた土地）には多くの優良企業を誘致することが出来ました。又天龍峡インターも開通し、天龍峡大橋及びその下の「そらさんぼ天龍峡」も開通しました。このみどり本で天龍峡エコバレーを中心に、土地利用計画が策定され、こんにちの秩序だった開発につながっております。しかし、当時土地利用計画はかさ上げされた地区が中心で、それ以外の地区は明確な方針が示されませんでした。この10年でその他の場所も大きく状況が変わり、里山の開発、住宅の建築が進んで参りました。この自然豊かな川路を住民共通の財産として、明確な将来展望を描くべきとの考えから、2年前に川路土地利用計画検討委員会がスタートし、20年後30年後に川路を担って頂く若い方にも大勢参画して頂き、川路をくまなく見て歩き、将来に向けた土地利用を検討して参りました。その成果を踏まえ、令和3年4月より、改定版川路基本計画の検討を開始して参ります。前回同様大勢の方に分野毎の検討委員になって頂き、50年先を見据えながら、5年10年先の川路の進むべき方向を決めて参ります。ご協力を是非お願い致します。



みどり本

裏面もご覧下さい

天龍峡幾島3本桜と菜の花

そらさんぽを訪れた観光客が天龍峡の街まで下りて来て頂く為に、少しでも天龍峡の魅力を増やしたいと、「天龍峡をよくしまいい会」と言う組織を2年前に立ち上げました。命名者は何を隠そう私でしたが、名前が野暮ったいという声が高く、公募の末七区の涌井さん命名の「天龍峡アヴニール倶楽部」と決まりました。昨年天龍峡の3か所の桜に名前を付け、看板を設置しましたが、3月にその一つの「幾島3本桜」付近の下草刈りを行いました。驚いたことに山の様なゴミが出て参りまして、びっくり仰天。灯油缶2個、車のベビーシート2点、缶、瓶沢山。川路の方がこの場所に不法投棄するとは思われませんから、旅の方と思いますが、モラルの低さにがっかり！しかし、整備活動のお陰で周りは綺麗になり、幾島3本桜及び菜の花を多くの皆さんに楽しんで頂きました。この幾島館跡の菜の花は、川路土地管理組合のご理解を得て、天龍峡アヴニール倶楽部と川路菜の花の会が協力して育成したのですが、昨年綺麗に咲いたかわらんべ河川敷の菜の花は、今年は今一步の出来で残念な状況です。川路の菜の花は、田畑保廣さん、関島誉夫さんを中心とした7人ほどの有志で一昨年より復活して活動を始めておりますが、昨年より天龍峡アヴニール倶楽部もかわらんべより南部分の育成に協力し始めました。かわらんべ下の河川敷を昨年並みに立派にしなくてはと、この4月19日に正式に組織化することになり、第一回目の設立総会を持つことになりました。この活動は花が好きで、川路を綺麗にしたいという気持ちが無いと長続きがしません。そんな気持ちがある方は、是非一緒に活動して頂きたく、声をかけて頂けたら幸いです。お待ちしております。

川路まちづくり委員会役員総会

来る4月18日川路まちづくり委員会の役員総会が5時から川路公民館で開催されます。今年のまちづくり委員会の活動の特徴は、中島千明前会長の活動継続と改定版川路基本計画検討開始です。役員総会の議決権は川路まちづくり委員会の役員のみですが、参加は川路住民誰でも可能です。多くの住民の皆様のご参加をお待ちしております。

川路公民館館報と川路広報が一つになります

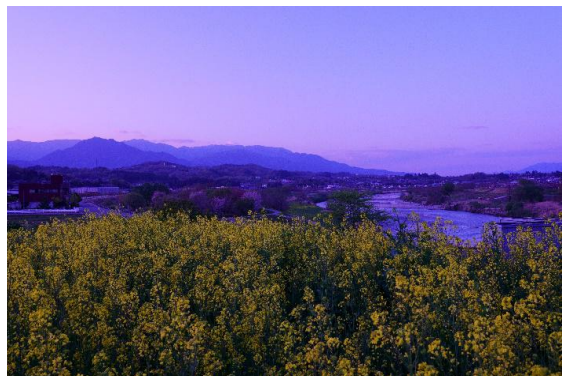
川路まちづくり役員会便りがタイムリーに発行され、数カ月遅れで似たような記事が川路広報で配布されるのは如何なものかと広報委員から声が上がリ、まちづくり3役にも入って頂き検討して参りました。一時は廃刊も考えましたが、2年間の発行の中で川路広報の使命は、正しくまちづくりの活動を住民の皆さんに周知し、又後世へ記録として残すことにあるとの結論になりました。しかし、情報が多い中整理も必要であり、公民館館報と統合し、まちづくり広報としての使命は継続して行くことになりました。悩みながら活動を共にした委員会の皆さんは、やりがいがある楽しい活動でしたと、最後はお花見をして別れを惜しみました。



幾島館跡の菜の花と天龍峡幾島3本桜



天龍峡幾島3本桜付近の不法投棄物



夕暮れの幾島館跡の菜の花と天龍川
残念ながら朧月夜は見られませんでした



川路広報委員会 天龍峡第一公園お花見会